



第2回 臨時的任用教員研修

平成30年6月19日（火）実施

講義・演習「児童生徒理解に基づく、学級（学習集団）づくり」

講師：高知大学 金山 元春 准教授



人間関係とは、相互作用です



安心で居心地のよい場合は、子どもの発達が促され、学びが深まります。キーワードは、「人間関係」です。「人間関係」とは、「相互作用」です。お互いの成長を促すのが、理想の学級集団です。よい影響を与え合う人間関係を意図的・計画的につくっていきましょう。

人間関係が上手くいっていないときには？

ペーシング アンド リーディングで

相手と波長・歩調を合わせる

合わせてずらす

人間関係が上手くいっていないとき、相手が変わってくれたらいいなあ、と思いますよね。そのようなときは、こちらが「ものの見方」を変えて、コミュニケーションを工夫していきましょう。

「YOU（ユー）メッセージ」は、相手からの反発を招きやすく、ネガティブで非建設的な作用になってしまいます。建設的な方向にいかないと思ったら、土俵から下りて、風向きを変えていく必要があります。相手を変えたいと思ったら、相手に波長・歩調を合わせて、合ってきたら、ずらしましょう。

「ペーシング アンド リーディング」です。そうすると、衝突を起こさずに済みます。

学級集団のタイプから、よい影響を与え合う人間関係をつくっていきましょう

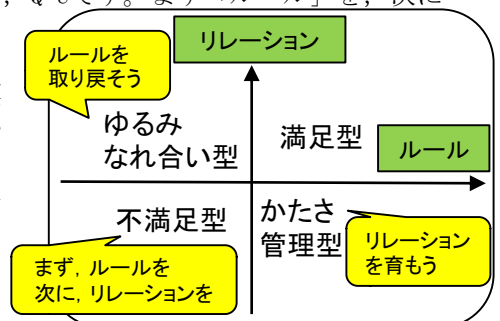
子どもの思いを視覚的に分布したもの（見取るためのツール）が、Q-Uです。まず「ルール」を、次に「リレーション」を、育んでいきましょう。

1 ルールの明確化(明示化) Do ルール(～する・始める)

言わなくても分かっているだろうではなく、行動レベルで目標を示しましょう。学級は、異なる考え方・価値観をもったお互いが共に生活している場所ですから、あえてルールを明示することが大切です。「ルール」は、児童生徒でつくったほうが、自分たちで守ろうと考えるでしょう。

2 2本のアンテナを立てる

ルールが守られていないときに、教師はピンとアンテナを立てて児童生徒に関わりがちですが、ルールが守られているときこそ「OKメッセージ」を送って、関わっていきましょう。



なれ合い型の集団の中では、「いじり」という名の「いじめ」が横行しているかもしれません。そのようなことは、断ち切りましょう。

リレーションの前提として 〔子どもが信頼する教師〕

- 1 話を聴いてくれる
- 2 認めてくれる
- 3 自分の思いを語ってくれる
- 4 言うこととすることが一致している
- 5 笑顔でかかわってくれる

(1) ほめる 「すごいね」「えらいね」「合ってるよ」

* YOU(ユー)メッセージは、相手に評価を下しているととらえられがちなので、発達段階を踏まえる

(2) 勇気づけ 「ありがとう」「うれしい」「助かった」

* I(アイ)メッセージは、素直な思いを伝えることができる

(3) 認めるという関わりをあきらめない 「君はそこにいるよね」「君を見てるよ」「君も学級の大切な仲間だよ」

3 OKではないときは、対決 I (アイ)メッセージ(状・気・選)を伝える

まず、状況を描写しましょう。次に、素直にアイメッセージで気持ちを伝えましょう。そして、選択させるようにこちらが提案しましょう。

4 リレーションを育む

具体的教育方法として有用なのは、「構成的グループエンカウンター」です。

(1) 出会い

今まで知らなかった新たな自分に気付き（自己理解を深める）、自分とは異なる感じ方・考え方をもっている他者と出会う（他者理解を深める）。そのことを通じて、ふれ合いのある人間関係をつくっていきましょうということが「構成的グループエンカウンター」のねらいです。

(2) エクササイズ

「構成的」とは、建設的な相互作用が生まれる意図的・計画的な枠組みの提供です。集団で作業や課題に取り組むエクササイズがあります。学級集団の成熟度によって、エクササイズをその都度実施し、「リレーション」を育んでいきましょう。各校に配付されている『あったかプログラム』は、学級集団づくりのためのプログラムとして開発されています。この冊子には、時期や学級集団の状態に合わせて、エクササイズが紹介されています。併せて、指導案やワークシートも掲載されていますので、ぜひご活用ください。

教育情報化推進支援補助員の派遣について

2学期以降のICTを活用した授業づくり等のために！

夏季休業中の教育情報化推進支援補助員派遣をぜひご活用ください。

ICTの活用

- ・ タブレット端末、電子黒板の接続や操作方法をお伝えいたします。
- ・ 個別の対応から、学年団、校内研修のレベルまでご要望に応じて対応いたします。
- ・ 短時間でのスポット対応もいたします。

夏季休業中がチャンスです。



2学期以降の授業づくり

- ・ 効果的な提示資料づくり等、ICTを使った教材作成をお手伝いするとともに、授業イメージを形にします。
- ・ 授業の計画段階から当日に至るまで機器操作のサポートをいたします。
- ・ 子どもたちの操作補助としてT2で授業に入ります。



夏季休業中から取り組めば、安心です。

学校のICT活用について、何でもご相談ください。

研修支援

- ・ 教育ソフト使用方法
- ・ タブレットPCの活用方法
- ・ 電子黒板操作方法 等

授業支援

- ・ ICT機器を使った授業の補助
- ・ 教材作成支援

HP作成・更新

- ・ ホームページの更新をよりスムーズに

ICT環境整備

- ・ 情報機器の接続
- ・ ソフトウェアのインストール

わたしたちが
おうかがいします。



上甲憲佑



小嶋理世

まずは
お電話ください

小さなことでもお気軽に
ご相談ください。



＜派遣期間＞平成31年3月28日（木）まで
平日 8：30～17：15

教育情報化推進支援補助員 派遣の申込みは

☎ 088 (832) 4493

高知市教育研究所 教職員研修班 情報教育担当

お電話をいただきましたら、日程を調整のうえ、派遣日・時間を決定いたします。